

DCT（オンライン治験）と 生成AIによる臨床試験プロセスの变革



中村 健一 先生
(国立がん研究センター 中央病院)

Decentralized Clinical Trial (DCT、分散型臨床試験) は、感染症領域のみならずがん領域や他の領域でも事例が増えつつある。国立がん研究センター中央病院では医師主導治験、企業治験に対して、フルリモート型、ハイブリッド型のDCTを4試験に導入している。講演ではDCTの具体例に加え、課題や未来像について解説する。また、昨今多方面での利活用が進む生成AIによって、臨床試験のあらゆるプロセスが変化することが予想される。講演では国立がん研究センター中央病院で取り組んだ生成AIによる治験総括報告書の自動作成の取り組みを例として取り上げ、今後の臨床試験への生成AIの利活用の方向性について解説する。

Zoom(ウェビナー)によるLIVE配信

6月13日(金) 14:00~15:30

対象者

医師・歯科医師等の特定臨床研究を行う者(初中級)
※どなたでも受講できます

お申込み

下記のアドレスまたはQRコードからお申込み下さい

https://juntendo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_pngPwoPJSs2mnYM2CZSX2g
(当日まで受付可)

ARO協議会スタディマネジャー認定制度受講単位対象セミナーです。

主催 順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研究・治験センター

お問合せ 臨床研究教育事務局 r.kyoiku@juntendo.ac.jp

研修会情報 <https://jcrtc.juntendo.ac.jp/about/workshop/>

